

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

No.1082
15.12.8

12月定例会市議会報告

年末の落ち着かない気分とともに、12月定例会もあとわずかになりました。本日は、日本共産党市議団の一般質問の報告です。

正規雇用の拡大重視を要求

11月30日(月)日本共産党の中村あさこ議員は市の「総合戦略」を中心に雇用や子育てについて一般質問しました。中村議員は、低賃金・長時間労働や不安定雇用が街の活力を奪っている指摘。安倍政権が掲げる「一億総活躍」が、安上が

かりで使い捨てが可能な労働者として若者や女性、高齢者まで活用しようというものであり市総合戦略も正社員の拡大が進むような取り組みになっていないと批判し、正規雇用の拡大重視を要求しました。

中村議員は、市総合戦略

税の滞納・返済は本税優先で

12月1日(木)日本共産党の南畑さち代議員は税の滞納問題と中学校給食について一般質問しました。南畑議員は、市が昨年まで滞納した税金の返済が納期別ごとに本税と延滞金に当てられ、またため、滞納額がなかなか減らず、延滞金が膨らみ続けた事例を紹介し、これまでの市の徴収の仕方は地方税法に定めた本税優先の原則(滞納金の返済はまず滞納した本税に充てる)に反していたことを指摘し、これまでの税額を調査すべ

に子ども医療費助成制度の拡大が位置づけられたことを評価し、早期実現を求めました。

またと要求しました。南畑議員は、中学校給食について、デリバリー方式

今週のフツのムラ

(その28)

冷たい朝に熱いお茶
朝、目覚めると、しばらく布団の温かさから離れたがたく何度モ「ヨシッ」と声を出して、時には起きないでそのまま布団にもぐり込んでしまうような、そんな季節になりました。なんとか起き出しました。なんとか起き出したあとは、シヤワーを浴びて朝ご飯になります。ここ何年か続けてきた朝の「パスタ」を脱却し、「系ごんにヤク」を経て、

最近「ユゴはん」に戻って来ました。おコメはおいしいですね。この季節のお茶は熱いのを飲みたいものです。便利な粉末茶がなくなり、春に使うていた残りのティーパックの緑茶を飲んでます。熱いお茶の難点の一つはメガネがくもること。あと一つは、急いで飲めな

冷たいペットボトルのお茶も手放せません。



ひめだ高宏

12月19日(土)
10:00~15:00
会場は
カトリック
屋形町教会
女性出しほ
カレー
ライス
衣類や
ハンカ
募集中

住まわりのためにも
相談村

介護保険サービス低下させるな

12月2日(水)日本共産党の松坂みち子議員は介護や農業について一般質問しました。松坂議員は、厚生労働省の訪問介護と通所介護を介護保険から追い出し、区市町村が安上がりなサービスを行って「総合事業」に移行しても市民サービスを低下させてはならないと主張。松坂議員は、基進緩和により、訪問型サービスで

ヘルパー資格がなくともよいとすればサービス低下につながるおそれがあると指摘し、現行どおりのサービス

スを提供することを要求しました。松坂議員は、「TPOが本市農業に及ぼす影響から、市長から国の撤退を求めるよう提案しました。」

ごみの分別・減量化の徹底を

12月4日(金)日本共産党の森下さち子議員は、ごみ問題や文化会館のあり方について一般質問しました。森下議員は、市が昨年4月からプラスチック分別をや

め一般ごみとして焼却しようとしていたことに期し、市民の理解は得られつつあるのかと質問。プラスチック資源ごみ回収のための分別や葉回収の実績・評価

こんにちは 日本共産党です



「赤紙」が来た?!
10月に施行された「マイナンバー制度」。通知カードがいま市町村から郵送されています。この制度には、情報の漏えい・なりすまし被害などの

危険性が高く、多くの方から不安が広がっています。政府が国民の所得・資産を把握することで徴税や社会保障の切り下げをぬらしたものです。我が家にも昨日通知カードの「不在連絡票」が入っていました。この不在通知の紙の色は「赤色」でした。

がてらを見て「こんな赤紙が来たな」と。絶対戦場には行かないよ!!。憲法違反の政治を続ける安倍政権には、一刻も早く退陣してもらわなければいけません。



坂口 美子 (参院選挙区)

を求め、徹底した情報公開と市民参加で、さらなる分別の徹底、ごみの減量化を進めるよう提案しました。森下議員は、回収対策事業

業として建てられた文化会館が対策法終了後も従来と変わらず誰も使えるようになっていないことを批判。改善を求めました。

大門みきこ 参院議員 からやがてグレイ

「絶望の社会保障」アベノミクスの新3本の矢が「強い経済」「子育て支援」「安心できる社会保障」と聞いたときやあちちくってんのからと思いましたが、特に社会保障は改悪の一途。10月に財務省は医療

負担に加え、100円や200円とい、た一定額を窓口で徴収する制度です。高齢者や慢性疾患の人など、病院回数の多い人ほど重い負担になります。制度の第一のねらいは受診抑制をほかにすること。第二は、た金を

介護、年金、生活保護などの項目にのぼる社会保障の改悪メニューを打ち出しました。

財務省の役人と話して感じるのは、お金がないのではなく、社会保障にお金を使おうがないということなんです。財務省が率先をめぐす「外来時定額負担金」は、その典型。病院の外来受診時

に、現在の3割ほどの定率

度も理念を破壊していくと思えました。